

よりよく生きる

2年生の道徳授業の紹介 愛ある愛媛の道徳「歌に思いをのせて」

2年生の3学期の道徳授業の内容を紹介させていただきます。

資料のあらすじ

全校生徒40名の私の学校では、小規模校のよさを生かし、MC T（美中クワイアタイム）で全校合唱を実施し、地域に披露してきた。少年式では、2年生のみで合唱を歌い、その後のコンテストにも出場することになった。



金賞という大きな目標を掲げて練習に取り組んでいた私も、周囲のやる気のない発言や予想以上の曲の難しさに、「もうやめたい」と思うようになった。そんなとき、先生が「何のために歌っているのか、もう一度、話し合っ」と提案する。クラスメイトの良美は、「聞いている人の心を感動させたい。みんなの思いが伝わる合唱にしたい」とみんなに訴える。

その日から、新たな目標に向けて練習を繰り返し、本番、私たちはベストを尽くして歌うことができた。今までにない一体感を感じ、金賞ではなかったが、銅賞を獲得した。

結果は銅賞だったが、悔いがなかったのはなぜだろう。

- ・練習がうまくいかなかったとき、本音で話し合う中で、友達の考えを深く知ることができた。
- ・みんなで心を一つにして頑張ってきた気持ちが大事だから。銅賞でもやり切ったと思えたし、みんなで話し合っ新しい目標に向かって頑張ったことがよかったと思えたから。
- ・あのときにみんなが本音を言わず、銅賞だったら後悔するけれど、みんなが思っている本音を聞き、練習をして、結果はどうであってもみんなの頑張る姿を見て、このメンバーでよかったと改めて思うことができたから。
- ・苦しい場面を、みんなで乗り越えて本番に臨めた達成感があった。
- ・クラスがばらばらになりそうになったけど、全員で心をひとつにして歌えたから。

真の友情とは、相互に変わらない信頼があって成り立つものであり、相手に対する敬愛の念がその根底にはあります。相手の人間的な成長を願い、互いに励まし合い、高め合い、協力を惜しまないという関係が、真の友情なのではないかと思えます。信頼し合える友人関係作りには、相手の気持ちを理解し、自分の考えをきちんと伝えることも必要かもしれません。そして、信頼し合える仲間がいれば、お互いに支え合い、高め合うことができるのでしょう。

2年生は、2月4日（水）に少年の日を祝う集いを行い、立派な決意発表、感謝メッセージ発表、学年合唱「超えてゆけ」「明日を向いて」を保護者の方々や1年生に披露しました。この成功体験は、2年生をより成長させたことだと思います。これから2年生が、立派に成長していく姿を、私たちも応援しながら見届けていきたいと思っています。